

学校教育の質をどのように評価するか —教育心理学の視点から—

藤村宣之

(東京大学大学院教育学研究科)

子どもの視点からみた学校教育の質

	評価方法	評価内容(プロセス)	評価内容(アウトプット)
1. 日本 (勝野報告)	全国学力調査 学校評価システム (自己、関係者)	指導方法の工夫・改善 学校行事の工夫	学力テスト得点 確かな学力の定着 行事の成果 進学率等の数値指標
2. イギリス (志水報告) 目標: 学力向上	キーステージテスト リーグテーブル 学校査察(専門家)	授業の質 管理職のリーダーシップ	テスト得点 スキルの水準 期待値との差 個人内変化
3. アメリカ (大桃報告) 目標: 一定水準 への全員の到達	スタンダード準拠テスト 自己評価, 訪問調査 モニタリング 「真正な評価」 (パイロット校)	リーダーシップ 教育と学習、地域の参加 問題解決力、コミュニ ケーション能力	テスト成績 (基礎的知識、技能)
4. フィンランド (渡邊報告)	全国学力調査 学校評価(自己評価) 独自の手法を開発 ディベロップメント志向	子どもの福利充実 安心できる学校 外部との連携	テスト成績 学力向上

教育の質を評価するために

1. 質を反映したアウトプットの評価 客観性は保つ
例) 記述型テストなどによる学力の質の評価
(例えば、思考プロセス、理解、表現力)
個人内の変化(成長)の評価
2. 客観性を高めたプロセスの評価
例) 授業の質をみる基準の確立
例えば、どのような協同が成立しているか
3. プロセスの評価とアウトプットの評価の関係性
例) どのような学習プロセスが生起することで
どのような質の学力が形成されるか

4人の先生方にお聞きしたいこと

1. 各国の学校評価において、どのような目標(質)が強調されているのか: 子どもの学びのプロセスとアウトプットとして
2. 教育の質の向上(目標実現)のための方法は?
子どもの発達のための環境の整備として
子どもの発達を直接促す教育として